



2050年、この星のどこかで。  
君たちは笑っていますか。

カーボンニュートラルという言葉がまだなかった数十年前から、  
グループ全社をあげて、脱炭素に取り組んでいます。

 <b>再生可能エネルギー エネルギーマネジメント</b>	 <b>バッテリー</b>	 <b>水質・化石燃料</b>	 <b>資源循環・3R</b>	 <b>エコノミー オブ・ライフ</b>
30年以上培ってきた再生可能エネルギー事業を基盤とし、トヨタグループ豊田通商グループのカーボンニュートラル達成に貢献。	当社グループ専有パートナーの自給型発電所は、太陽の真実を豊からライフサイクル全体でのカーボンニュートラルに貢献。	グリーン水素の生産施設を計画し、再生可能エネルギーを活用し、CO <sub>2</sub> を削減する。水素・代替燃料、地域で調達するカーボンニュートラルを推進。	「CO <sub>2</sub> を減らす」だけでなく、資源・エネルギーに対して「カーボンニュートラル達成は同じ、異業種連携」を推進。	工場・店舗を各社が持つ「パブリックビル」でカーボンニュートラル達成。また、顧客の「家畜」の飼育において、CO <sub>2</sub> の削減・削減プロジェクトを推進。

未来の子供たちに、よりよい地球環境を。  
とどける商社、豊田通商。

Be the **Right ONE**  
 豊田通商

# 豊田通商グループ 会社説明会

2022年8月26日  
豊田通商株式会社  
(証券コード 8015)

# 目次

**I. 会社概要～豊田通商とは～**

**II. 業績推移**

**III. 当社の成長戦略**

**IV. 株主還元方針**

**V. 質疑応答**

# 目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の成長戦略

IV. 株主還元方針

V. 質疑応答

# 豊田通商とは

## Global Vision



Be the **Right ONE**

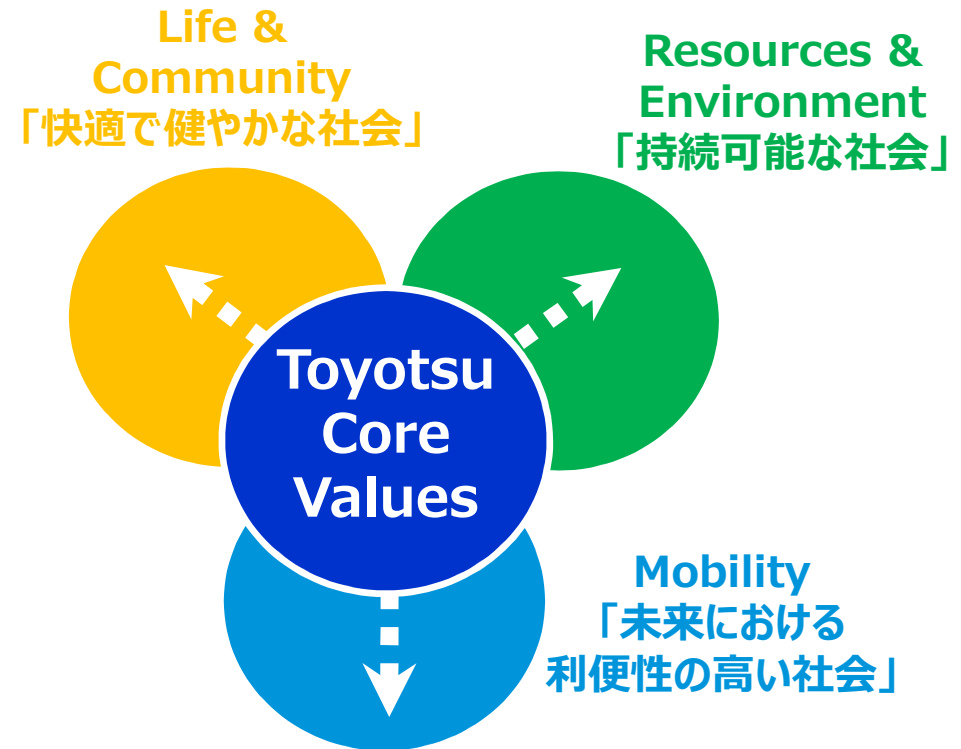
## 豊田通商グループウェイ

商魂

現地  
現物  
現実

チーム  
パワー

## Toyotsu Core Values



- 現場に立ち、付加価値を提供する力
- 個の力を結集した総合力
- 我々「ならでは」を創り上げる力

当社の紹介映像をご覧ください

<https://www.toyota-tsusho.com/about/stream/>



# 豊田通商らしさの実践



当社ならではの価値を創造

戦略策定・事業展開

トヨタグループの  
一員としての「らしさ」

培った知見を  
トヨタグループ内へ還元  
トヨタグループ外へ活用

成長の過程で  
身に付けた「らしさ」

「縁の下の力持ち」の役割  
「知恵を出す、汗をかく」の姿勢

グローバルカンパニーを目指し  
身に付けた「らしさ」

戦略的なM&Aで補完  
D&Iの体現

トヨタグループ



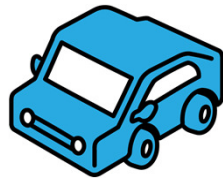
商社

# 数字で見る豊田通商

豊田通商株式会社（証券コード8015） 2022年3月末時点



設立  
1948年



主要株主  
トヨタ自動車  
21.69%



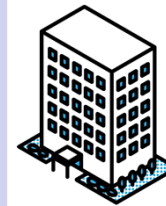
連結従業員数  
約65,000名



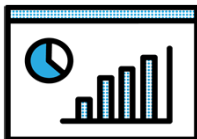
グローバル  
ネットワーク  
約130カ国



Be the Right ONE



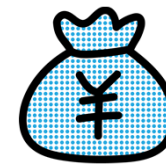
連結関係会社数  
国内外合わせて  
約1,000社



22/3期  
当期利益  
2,222億円  
過去最高益更新








株式  
時価総額  
約1.8兆円



1株当たり配当金  
@160円  
12期連続増配

# 事業本部概要紹介

本部	事業内容	自動車	自動車以外
金属	自動車鋼材、金属製品、非鉄金属、金属資源		
グローバル部品・ロジスティクス	自動車構成部品、物流事業、タイヤ組付け		
自動車	自動車等(二輪車、トラック、バス含)の輸出・小売、販売周辺		
機械・エネルギー・プラントプロジェクト	車輜生産設備、エネルギー、プラント、各種機械		
化学品・エレクトロニクス	化学品、合成樹脂、エレクトロニクス		
食料・生活産業	穀物、食品、保険、アパレル関連、介護・医療用品		
アフリカ	自動車、ヘルスケア、消費財・生活産業、テクノロジー&エネルギー		



# 目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

**II. 業績推移**

III. 当社の成長戦略

IV. 株主還元方針

V. 質疑応答

# 業績推移

当期利益 過去20年間の推移

01/3期比較(約20年間)

当期利益 **+27.1倍**

22/3期  
過去最高益達成

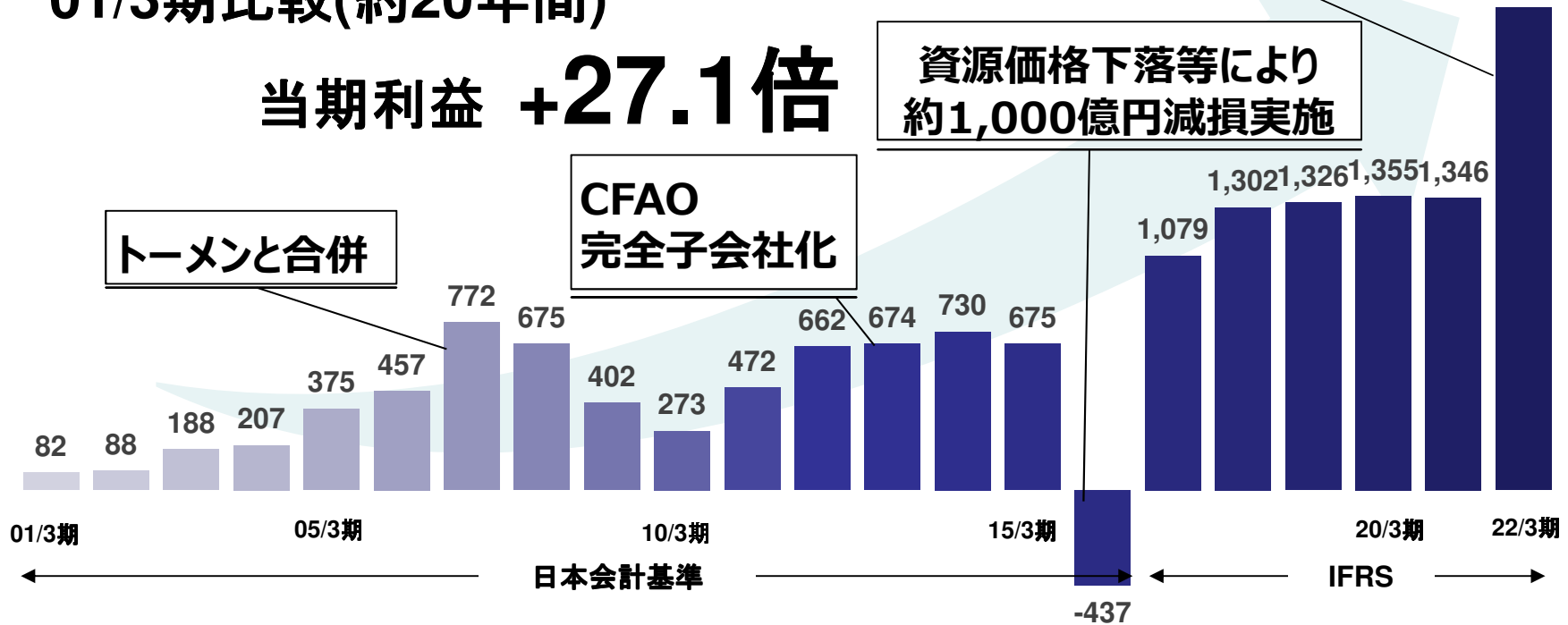
(単位：億円)

**2,222**

資源価格下落等により  
約1,000億円減損実施

CFAO  
完全子会社化

トーマンと合併



	01/3期	11/3期	22/3期
時価総額	1,179億円	4,858億円	17,915億円
関連会社数	140 社	592社	1,026社
人員数	9,493 人	31,081人	65,218人

約20年で

+15.2倍  
+7.3倍  
+6.9倍

# 目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

**III. 当社の成長戦略**

IV. 株主還元方針

V. 質疑応答

## 当社の強み

## 築き上げてきた競争優位性

自動車産業の  
環境変化  
(CASE)

- 自動車ビジネスの知見とネットワーク
- CASEへの対応を促進するエレクトロニクス技術

気候変動の  
影響拡大

- 国内最大の風力発電事業者

新興国の  
発展

- アフリカ全土にわたるネットワークとプレゼンス

リサイクル機運  
の高まり

- 長年かけて築いた、幅広いリサイクル事業基盤

# サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)

安全で快適な  
モビリティ社会の  
実現に貢献



脱炭素社会移行に  
貢献



循環型社会に貢献



豊田通商グループの  
サステナビリティ重要課題

開発途上国の  
社会課題の解決



安全と  
コンプライアンス  
の遵守



人権の尊重と  
人材育成



# サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)における成長戦略



# ネクストモビリティ戦略

## リチウム開発事業

### EV増加を見据えた、電池サプライチェーンでの事業領域拡大

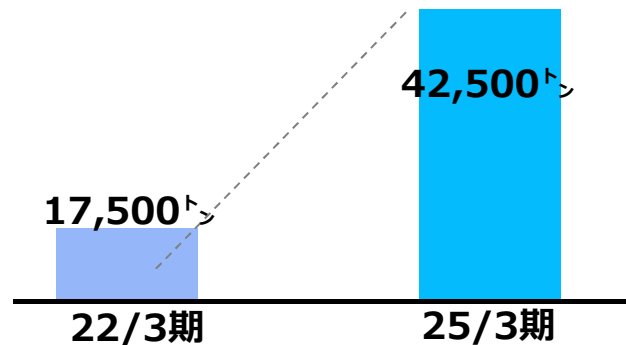


電池需要に応え、原料となる  
**炭酸リチウムを増産**

Sales de Jujuy  
(アルゼンチン オラロス塩湖)



炭酸リチウム(生産能力)



2022年生産開始予定  
**国内初の水酸化リチウムを製造**

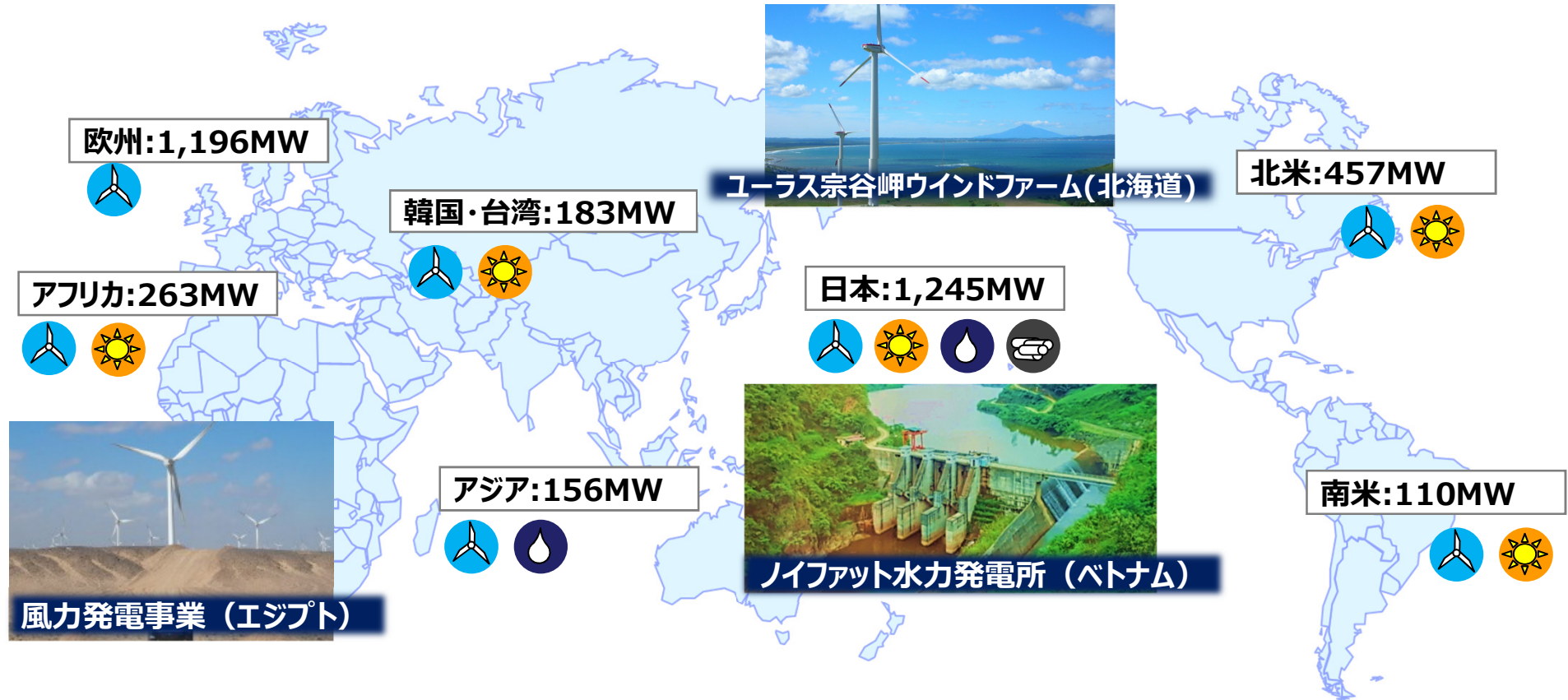
豊通リチウム (福島県)



# 再生可能エネルギー戦略



## 再生可能エネルギー戦略 ～地域別戦略マップ～



風力 2,971MW    太陽光 344MW    水力 270MW    バイオマス 25MW  
 合計 **3,610**MW = 原子力発電 **3**基分相当(2022年3月末)



# 循環型静脈事業戦略

## リサイクル事業により脱炭素化ソリューションの提供



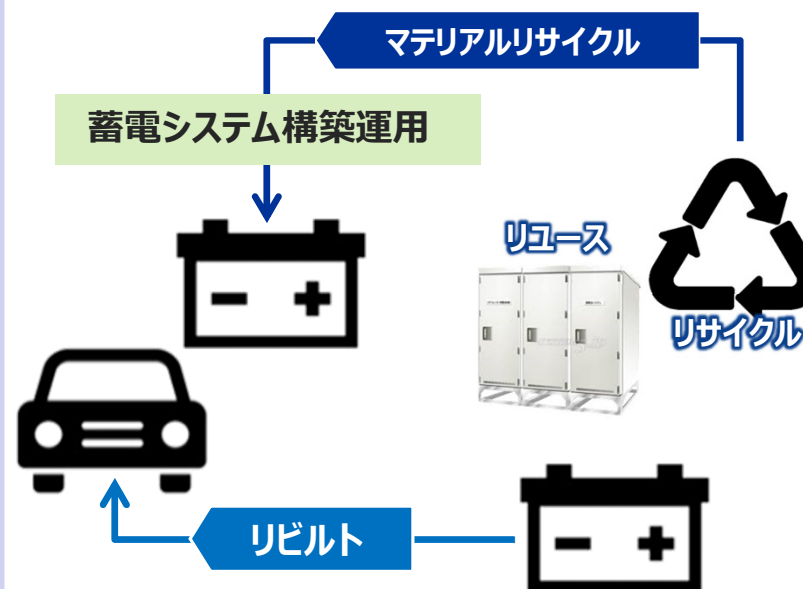
### 廃車適正処理 ELV回収・適正処理事業

Maruti Suzuki  
Toyotsu India Private Limited



ELV: End of Life Vehicle

### バッテリー 3 R 事業



アフリカ戦略の紹介映像をご覧ください

<https://www.toyota-tsusho.com/about/stream/>



# アフリカ戦略

Vision

## WITH AFRICA FOR AFRICA

産業変革

グリーンエコノミー

グローバルヘルス

人材開発



アフリカ全 **54** 国でネットワーク

グループ企業 **155** 社

従業員約 **22,000** 名



# トピックス「TICAD 8」

【TICADとは】 Tokyo International Conference on African Development  
(アフリカ開発会議)

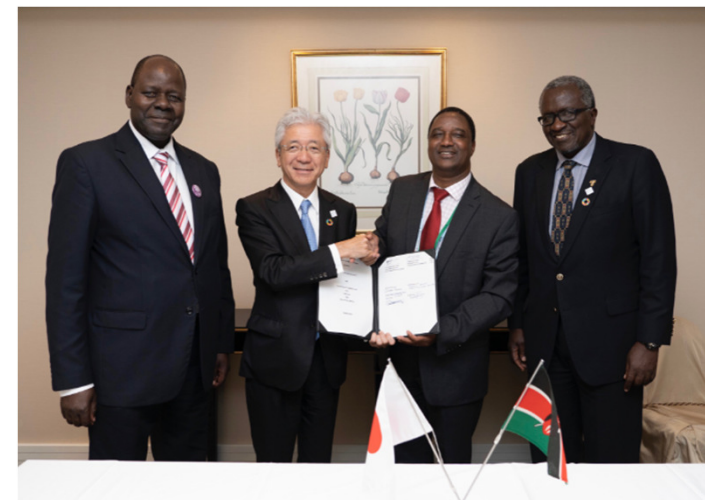
アフリカの自立的で、質の高い成長をテーマとするオープンな国際会議

**明日8月27日(土)、28日(日) チュニジア/チュニスにて開催**



今回TICAD8に向けた当社広告  
～28日まで品川駅にて掲載中

前回TICAD 7の様子  
ケニア政府との“ビッグ4アジェンダ”  
実現に向けた包括MOUを締結



# カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

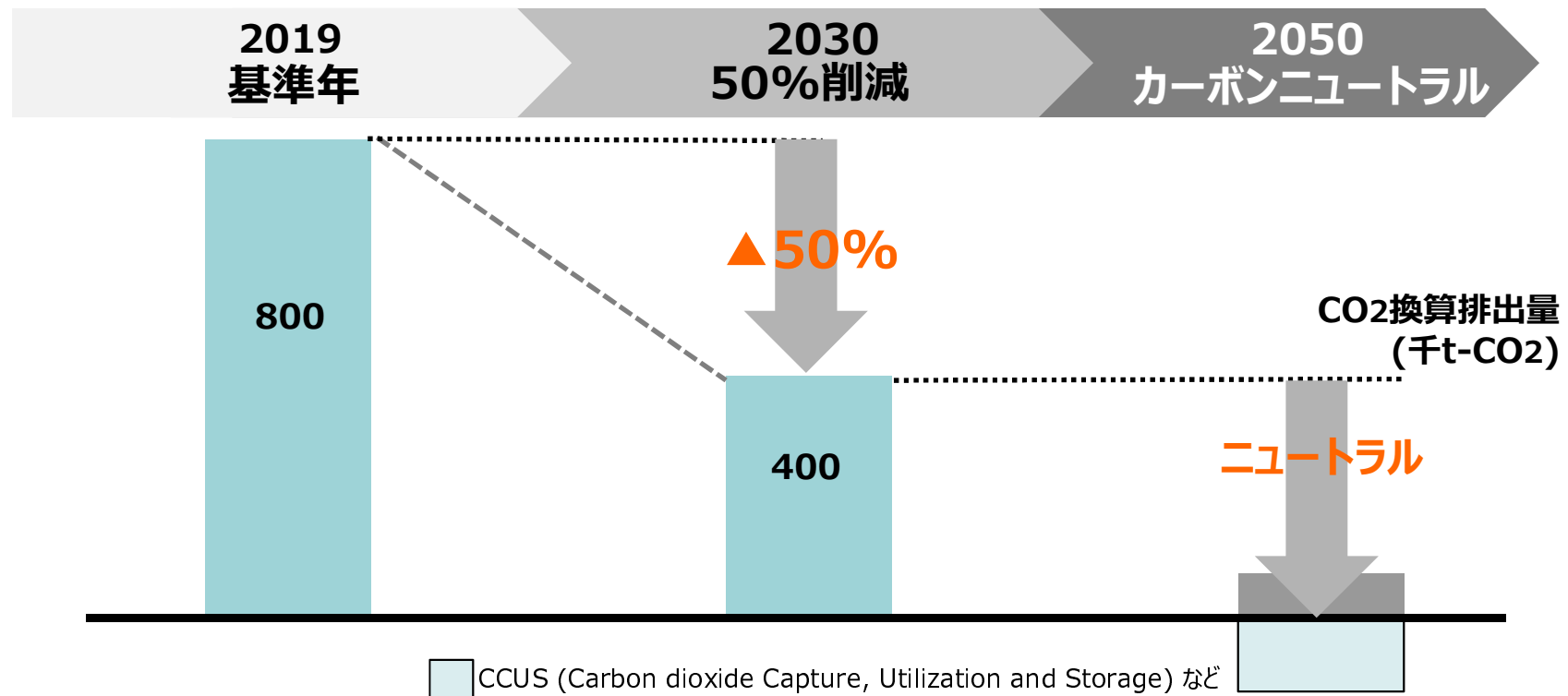
Mission

未来の子供たちに、よりよい地球環境を

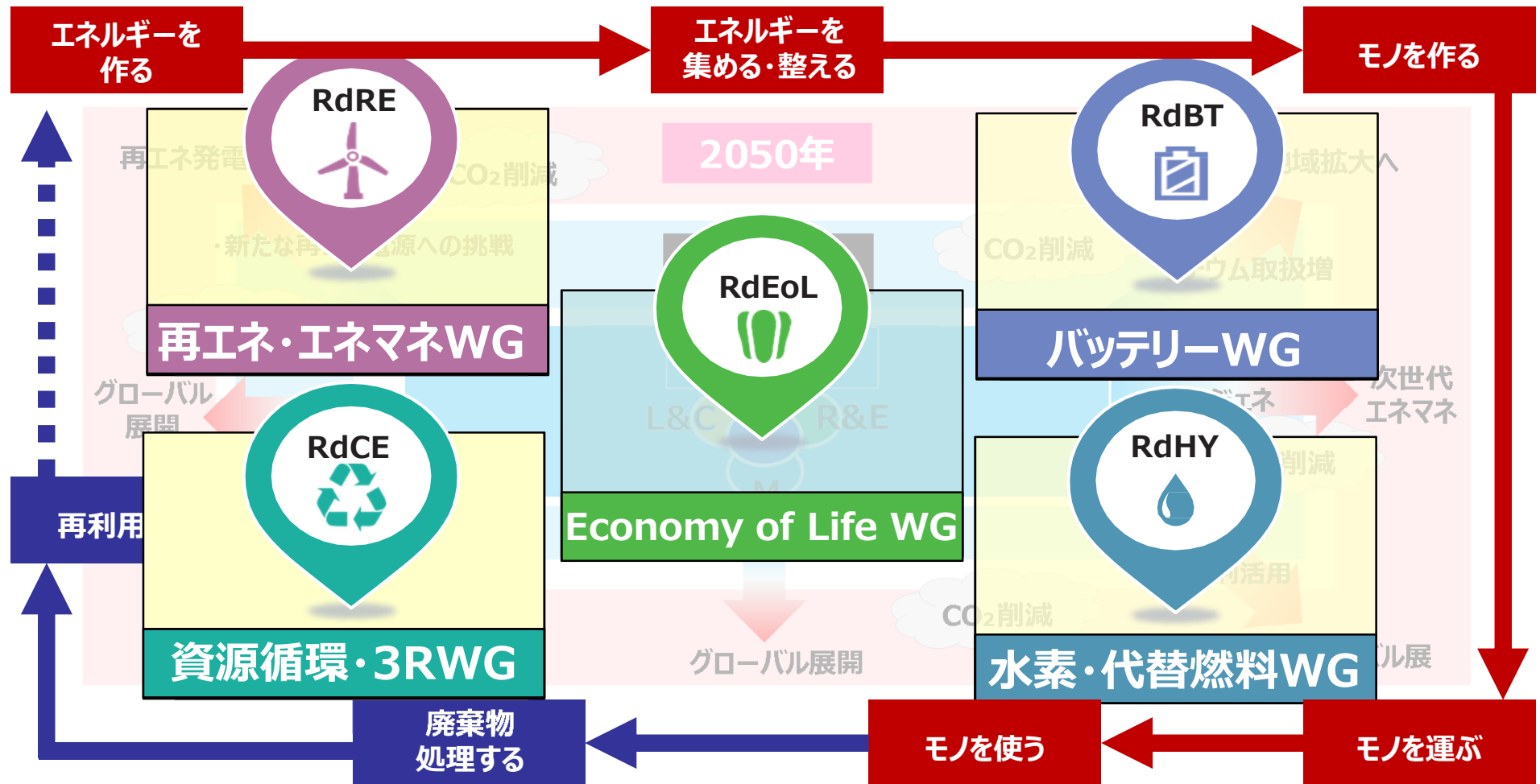
Vision

リーディング・サーキュラーエコノミー(CE)・プロバイダーへ

## 豊田通商グループ° カーボンニュートラル宣言



# 戦略マップと5つのワーキンググループ（WG）



# GHG削減に貢献する事業領域を伸長

2022年8月1日  
ユーラスエネルギーホールディングス100%子会社化  
**1,850億円**の投資実行



2030年までに  
**1.6兆円以上**



# 目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の成長戦略

**IV. 株主還元方針**

V. 質疑応答



# 株主還元方針、2023年3月期 配当予想

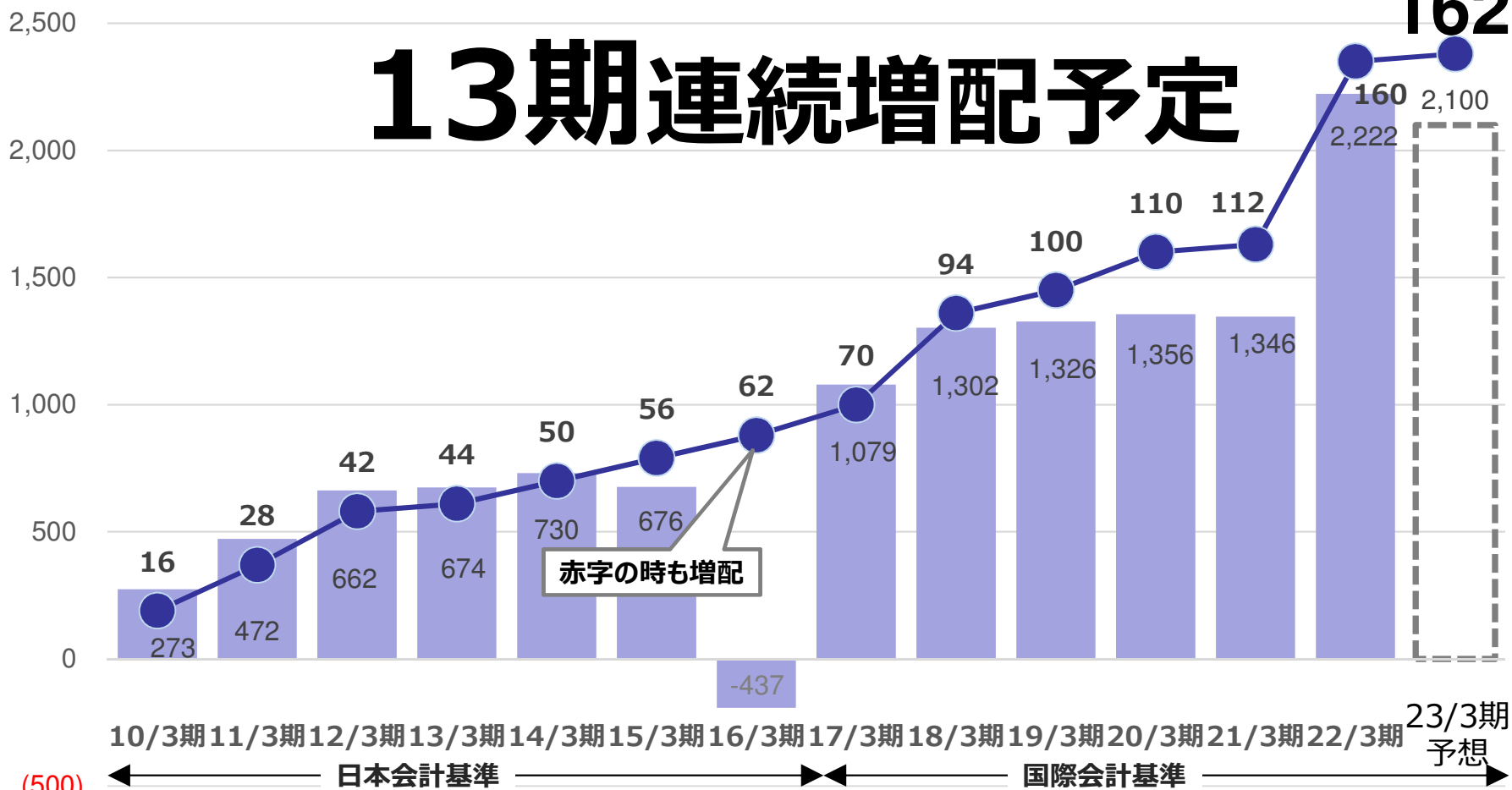
## 株主還元方針

連結配当性向 25%以上を基本方針とし、安定的な配当の継続並びに  
1株当たりの配当の増額に努めていく

(1株当たりの配当金：円)

当期利益推移

# 13期連続増配予定



# 財務方針 ～Cash Flow Managementの推進～

(単位：億円)

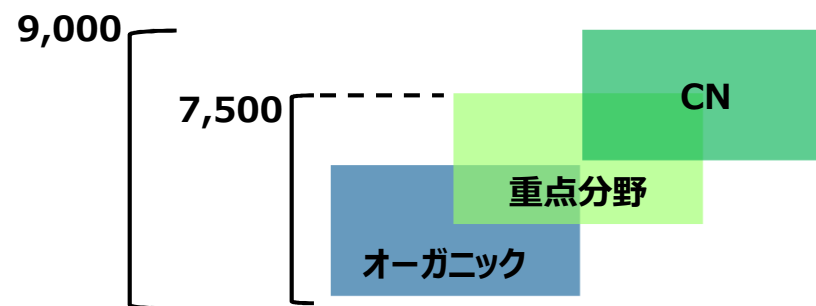
## 投資方針

### ①原則、営業CFの範囲内での投資



2022年～25年3月 3年累計CFの見込み

### ②CN関連は将来の成長に向けた先行投資



CN投資加速により、中計期間中に投資額 > 営業CFとなる可能性あり

## 財務方針

➤ Net DER : 1.0倍以内  
借入余力 22年3月期 約5,000億円  
25年3月期 約8,000億円

➤ RA/RB : 1.0未満でのリスク管理

新しいステージに向けた成長投資と株主還元の両立

# 目次

I. 会社概要～豊田通商とは～

II. 業績推移

III. 当社の成長戦略

IV. 株主還元方針

V. 質疑応答

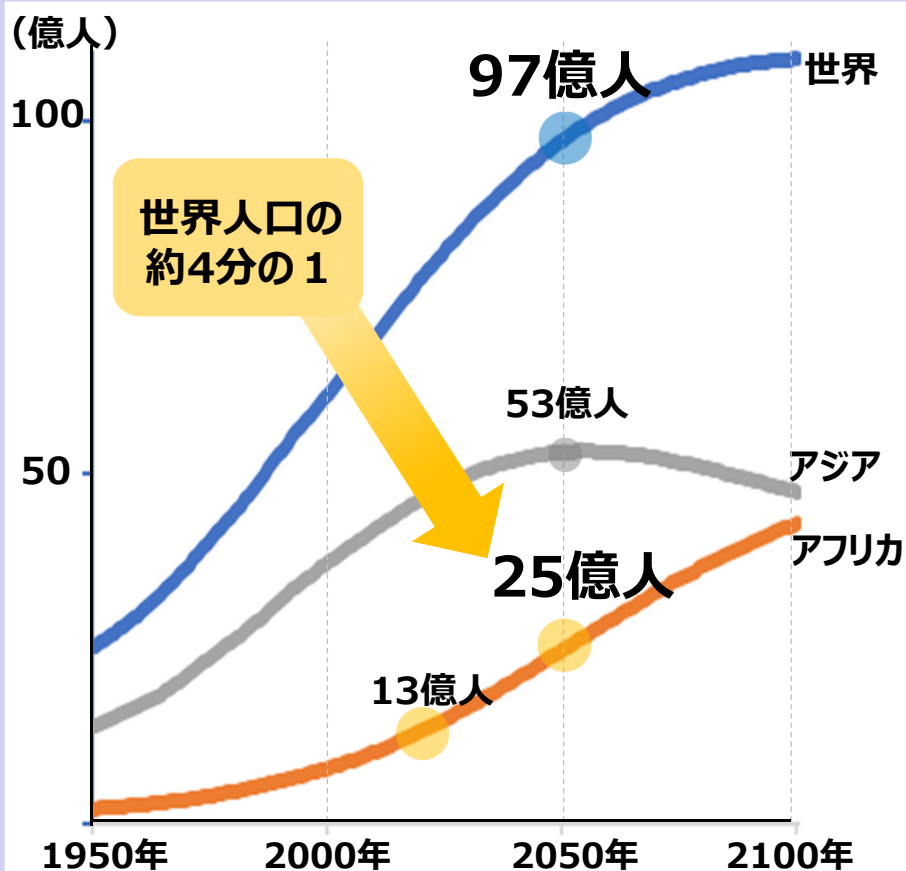
## よくある質問①

**なぜアフリカへ特化した戦略？  
今後のアフリカ戦略の展望は？**

# よくある質問① 回答

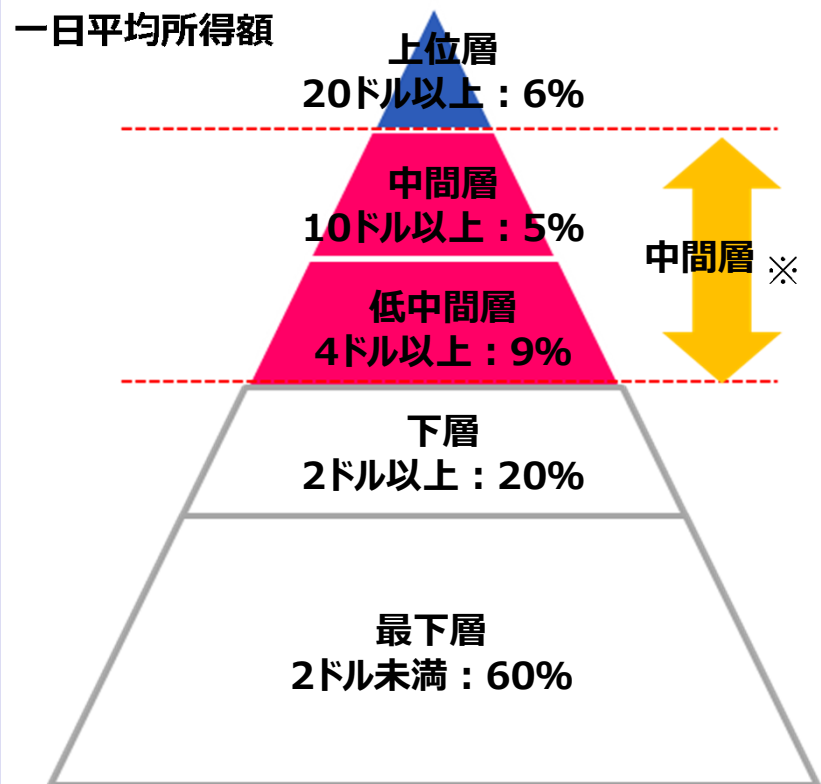
## なぜアフリカへ特化した戦略？ 今後のアフリカ戦略の展望は？

### 人口の大幅な増加



出典:United Nations " World Population Prospects 2019"

### 中間層の勃興(2040年予想)



※アフリカにおける中間層：  
1日当たり4~20ドル消費可能な所得層  
出典：Based on African development bank (data 2015)

## よくある質問②

**完全子会社化した“ユーラス”とは  
どんな会社？**

## よくある質問② 回答

完全子会社化した“ユーラス”とはどんな会社？

### 国内No.1

風力発電業界のリーディングカンパニー  
5つの地域、15か国で100以上の  
発電所プロジェクトが展開中



1999年に日本における最初の大規模風力発電所  
(ウインドファーム)を北海道の苫前町に建設。

風力発電事業者としては**国内最大のシェア**を誇る。



2008年、  
太陽光発電事業にも参画

# 質疑応答

2050年、この星のどこかで。  
君たちは笑っていますか。

カーボンニュートラルという言葉がまだなかった数十年前から、  
グループ全社をあげて、脱炭素に取り組んでいます。

 <b>再生可能エネルギー エネルギーマネジメント</b>	 <b>バッテリー</b>	 <b>水質・化石燃料</b>	 <b>資源循環・3R</b>	 <b>エコノミー オブ・ライフ</b>
30年以上培ってきた再生可能エネルギー事業を基盤とし、トヨタグループ・豊田通商グループのカーボンニュートラル達成に貢献。	当社グループ専任パートナーの自給型最先端型電池の構築、豊後からラフサイクル全体でのカーボンニュートラルに貢献。	グリーン水素の製造施設を7カ所以上で世界をリードする計画を推進し、CO2削減・代替燃料、地域で推進中のカーボンニュートラルを加速。	「CO2削減率」削減・CO2削減率、廃棄物削減に貢献。ニューラル達成に向け、異業種連携を推進。	工場群を各社にわたるパブリッククラウドでニューラル達成。『家畜生産』の供給において、CO2削減・削減プロジェクトを推進。

未来の子供たちに、よりよい地球環境を。  
とどける商社、豊田通商。

Be the **Right ONE**  
 豊田通商

# 豊田通商グループ 会社説明会

2022年8月26日  
豊田通商株式会社  
(証券コード 8015)



# 当社HP紹介

投資家情報

## 個人投資家の皆様へ

個人株主・投資家の皆様に豊田通商をより深くご理解いただけるよう、当社の戦略、業績、配当方針についてわかりやすくご紹介します。

豊田通商について



当社の成長戦略



グループ業績



配当方針



もっと詳しく  
知りたい方へ



豊田通商

で

検索

当社個人投資家HPへ是非アクセス下さい！

<https://www.toyota-tsusho.com/about/>





## 参考資料

# 過去10年間の財務サマリー

(単位：億円)

	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22//3期
売上高/収益※	63,043	77,432	86,634	81,702	57,973	64,910	67,627	66,940	63,093	80,230
当期利益	674	730	675	▲437	1,079	1,302	1,326	1,355	1,346	2,222
総資産	35,923	40,727	45,336	39,521	42,120	43,100	44,414	45,452	52,280	61,431
資本	9,200	11,560	13,044	10,557	12,235	13,621	13,896	13,724	16,580	19,428
ネット有利子負債	9,986	10,889	12,335	11,027	11,019	10,069	9,884	10,324	9,934	12,382
営業CF	1,241	1,339	1,691	3,083	1,597	2,150	2,107	2,678	2,450	501
ROE	9.6%	8.4%	6.4%	▲4.3%	10.8%	11.7%	11.2%	11.3%	10.1%	13.9%
ネットDER	1.31倍	1.12倍	1.10倍	1.24倍	1.05倍	0.86倍	0.83倍	0.86倍	0.68倍	0.71倍

← 日本会計基準 →      ← 国際会計基準 →

※日本会計基準においては売上高、国際会計基準では収益

# C/N(カーボンニュートラル)5つのワーキンググループ



RdRE (Road Renewable Energy)  
再エネ・エネマネ WG

投資額  
7,000億円

つくる

整える

届ける

再エネの拡大  
(一般市場)

再エネ発電の導入拡大  
原価低減の推進



風力発電



太陽光発電



水力発電



バイオマス  
発電

電気



供給

需要

電気

各国制度や市場見通しを踏まえて  
トータルな脱炭素化を推進



オンサイト/  
オフサイト太陽光



自家発・  
省エネ機器



蓄電池



電気自動車



水素

創エネ・省エネ・蓄エネ・分散電源

豊田通商G  
脱炭素化推進(自社PJ)

豊田通商全世界電力使用量  
50%の再エネ化



主要顧客G  
脱炭素化

主要顧客Gの再エネ化  
ニーズに貢献



# C/N(カーボンニュートラル)5つのワーキンググループ



## RdBT (Road Battery) バッテリー WG

投資額  
4,000億円

電動車普及には  
様々な課題が存在

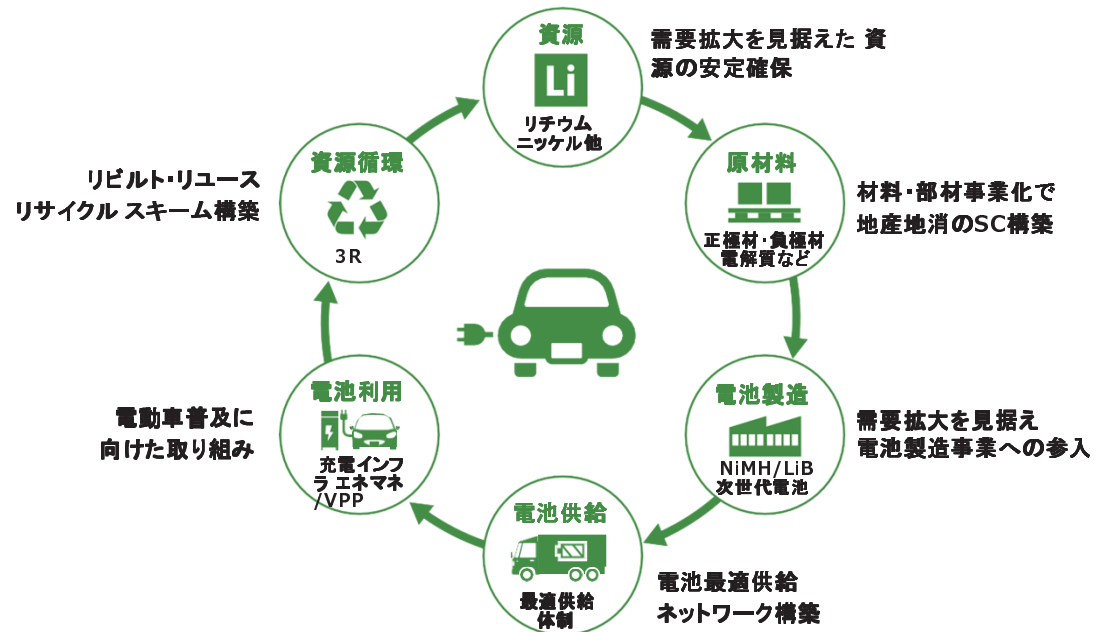
### 車両/電池側の課題

- 車両(電池)価格
- 電池の数量確保
- 電池性能  
(航続距離、充電時間など)

### インフラ側の課題

- 充電インフラ
- リビルト・リユース・リサイクル

電動車普及のキーとなるバッテリー領域の課題解決を通じてCNに貢献



# C/N(カーボンニュートラル)5つのワーキンググループ



## RdHY (Road Hydrogen) 水素・代替燃料 WG

投資額  
2,000億円

### 水素・FC※1(燃料電池)利活用

#### 水素社会実現の 原単位モデルづくり

大規模な利活用3モデルを  
10カ所以上実現

#### 港湾

- ・米ロサンゼルス港
- ・英イミンガム港
- ・国内港湾



#### 公共交通

- ・欧州(ドイツ・スペインなど)



#### 物流

- ・欧州(ドイツ・スペインなど)



#### FC外販

FCパワトレ  
外販市場30%の  
シェア確保

30%



### 自社物流

#### 自社トラックの 排出量削減

A格トラックの  
CO2排出量50%削減  
(19年比)

-50%



### カーボンニュートラル燃料

#### CN燃料開発・ サプライチェーン構築

バイオ由来などを中心に  
取り組み加速

(廃棄物から)  
バイオメタンなど製造



トレーディング・  
オフテイク



工場・産業用途



※1: Fuel Cell

# C/N(カーボンニュートラル)5つのワーキンググループ



## RdCE (Road Circular Economy) 資源循環・3R WG

投資額  
2,000億円

### 脱炭素目線での資源循環

#### 再資源化へのチャレンジ

- 希少金属 .....Co・Ni・Li・Cu
- プラスチック .....マテリアル・ケミカルリサイクル
- 再エネ機器 .....CFRP※1・太陽光パネル

#### 2次利用の開発

- リユース・リマニュファクチャリング

※1: Carbon Fiber Reinforced Plastics  
(炭素繊維強化プラスチック)

減らす

なくす

### サーキュラーエコノミー イノベーションセンター

サーキュラーエコノミー  
関連技術の手の内化

創る

### CO<sub>2</sub>の回収・利活用

#### CCU※2の技術開発と社会実装

- 用途開発と仲間づくり

#### 廃棄物からのエネルギー回収

- バイオガス発電

#### 代替素材の開発

- バイオマスプラ

※2: Carbon dioxide Capture and Utilization  
CO<sub>2</sub>が大気中に排出される前に回収して利用する技術

### 脱炭素からの新たな価値創造

#### 『コトづくり』

- CO<sub>2</sub>削減量を価値化した3R事業開発

#### 静脈事業プラットフォーム構築

- 静脈事業データの価値化とサービス提供

# C/N(カーボンニュートラル)5つのワーキンググループ



**RdEoL (Road Economy of Life)**  
Economy of Life WG

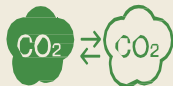
**投資額**  
**1,000億円**

## アグリビジネスを通じたCCUS※1

環境保全型農業 へのリード



植林、森林再生と合わせて  
カーボンクレジット集荷・販売  
(ブラジル)



次世代バイオマス事業



廃熱・CO<sub>2</sub>利用型農業の  
横展・太陽光発電との  
組み合わせ



## 食ビジネスのCN&リニューアル

植物肉加工 食品製造



バイオマス  
プラスチック事業



畜産×発電・水素  
生成事業



## EoL領域ビジネスのCE化

マテリアル  
リサイクル事業



環境負荷の大きい  
アパレルでCE実現



動脈・静脈一体型  
LCM※2システム



※1: Carbon dioxide Capture、Utilization and Storage、分離回収・貯留したCO<sub>2</sub>を有効利用する取り組み

※2: Life Cycle Management





Be the **Right ONE**



**豊田通商株式会社 財務部 IR室**

**E-mail: [ttc\\_ir@pp.toyota-tsusho.com](mailto:ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com)**

**Tel: 03-4306-8201**

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・其他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。